

# わき

第132号 2023. 8. 1

議会だより



願いがなうとしいな



和木こども園七夕祭り

- 物価高騰にプレミアム付商品券 …… p 2
- 町内の課題をもっとくわしく …… p 4・5
- 関ヶ浜地区で町づくり懇談会 …… p 6・7
- 和木町の財政を考える …… p 8
- 一般質問 …… p 9～11



和木町議会広報広聴常任委員会 E-mail : gikai@town.waki.lg.jp

6月定例会

物価高騰に応えた第3弾

プレミアム付商品券 2876万円

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を利用した生活助成事業

6月定例会は、6月9日から22日までの14日間の会期で開催されました。令和5年度補正予算では、国の新型コロナウイルス感染症対応地方臨時交付金を利用した、プレミアム付商品券事業2876万円、家庭用防犯カメラ補助金30万円等が補正追加され、他に監査委員の選任、町道路線の認定が出されました。また議員発議として「和木町議会議員の請負の状況の公表に関する条例」を提出し、全て全会一致で可決しました。一般質問は3名の議員が登壇し、町政を問いました。

補正予算

\*プレミアム付商品券事業  
2876万円

事業内容は、

(灰岡議員)

**問** 町から郵送する引換券を商工会に持って行くのと、町内店舗で使える1万円分の商品券が5千円で購入できる。



プレミアム付商品券

\*防犯対策事業 30万円

**問** 家庭用防犯カメラ設置補助金は3月予算で30万円あがっていたが、補正の理由は、

(灰岡議員)

**答** 多くの方から申請があり、残額が3万円となくなったため補正追加した。



※令和4年度からの繰越し事業

\*大竹庄送既設管の処理事業 1億1千万円

破損した大竹庄送管の残存処置を行い、仮設管を撤去する。

(財源)

国庫補助金

4650万円

地方債(借金)

6350万円

条例の制定

町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定

議員のなり手不足に対応するため、令和4年12月に地方自治法が改正され、これまで全面的に禁止されてきた議員による町村事業の請負が、会計年度あたり300万円まで認められ、令和5年3月1日から施行されています。

この改正により、議員と和木町との請負の状況を公表し、透明性を確保し、公正な議会運営を図るために条例を制定します。

監査委員選任

代表監査委員に山本修氏、議会選出監査委員に中村充子氏が全会一致の同意により選任されました。

# 臨時議会



5月8日に臨時議会が開催され、低所得の子育て世帯への生活支援給付金275万円の補正予算に関する専決処分や、ポンプ場維持管理事業180万円の補正予算が提出され、議会は全会一致で可決しました。

また議長・副議長選が行われ、議長に兼本信昌氏、副議長に森脇明美氏が当選しました。

併せて常任委員会、議会運営委員会の構成と正副委員長の互選、更に一部事務組合議員を選びました。

**\*低所得の子育て世帯生活支援給付金 275万円**

**問** 給付金の世帯数、金額、人数、内容は、家計急変世帯についても問う。  
(上田議員)

**答** 30世帯55人の児童を見込み、1人当たり5万円を支給する。家計急変世帯は、令和6年の2月29日まで申請を受け付け、任意の1か月分の収入に12を乗じて非課税相当の年収になれば支給する。

**\*ポンプ場維持管理事業 180万円**

**問** ポンプ場改修工事についての現状と工事日程は。  
(上田議員)

**答** 1号ポンプが故障で停止し、現在2・3号機で対応している。臨時議会後入札を実施し、梅雨を迎える6月初旬に整備を完了する予定。

**問** ポンプ場改修工事についての現状と工事日程は。  
(上田議員)

## 委員会構成

### ← 総務文教常任委員会

総務文教常任委員会とは、企画、財務、防災、税務、教育等に関する事項を受け持っている。



### 民生建設常任委員会 →

民生建設常任委員会とは、福祉、住民サービス、土木、都市計画に関する事項を受け持っている。



### ← 議会運営委員会

議会運営委員会とは、多数の議員で構成される議会を、円滑、効率的に運用するため委員会で、議会運営の責任者である議長の諮問的な性格を帯びている。

## 防 災

### 和木町総合防災訓練について

(上田委員)

**問** 津波を想定した訓練や蜂ヶ峯公園の防災設備の周知も兼ねた蜂ヶ峯公園での防災訓練の予定はあるのか。

**答** 今回は和木地区における複合災害（土砂災害・地震）を想定した訓練を計画しており、蜂ヶ峯公園での訓練は予定していない。

### 大雨による災害対策

(津島委員)

**問** 今年はエルニーニョ現象で台風が心配だ。瀬田や関ヶ浜の河川浚渫工事は予定されているか。

**答** 昨年度、県は関ヶ浜川の大規模な浚渫工事を実施した。今年度も引き続き関ヶ浜川の工事を予定している。



## 福 祉

### 高齢者福祉タクシー事業

(兼本委員)

**問** 高齢者にとって病院や買物に使い勝手の良い福祉タクシーだが、チケット配布条件の合わない高齢者にとって不公平の声がある。制度の見直しは考えられないか。また妊婦への対象を広げられないか。

**答** 制度の見直しは、予算を伴うことから現時点で考えていない。妊婦への対象拡大は検討する。



浚渫された関ヶ浜川

### 地域包括支援センターのサロン運営の取組み

(灰岡委員)

**問** 各地域のサロンへの地域支援センターの関わりや取組みは。

**答** サロン全会場を訪問し、保健師による健康相談や健康運動指導士、童話講師、言語聴覚士など介護予防に関する講師派遣による支援を行っている。今年度は、あいうべ体操、パタカラ体操等の口腔体操の指導を実施する。



ゲームを楽しむサロンの皆さん

## 教 育

### お弁当持参対応に補助金

(上田委員)

**問** 学校給食の食物アレルギー対応のお弁当持参者への補助制度は。

**答** 本年度4月1日よりアレルギー多種で給食を全く食べることができず弁当対応の園児、児童、生徒を対象として、その保護者に弁当調理の経済的支援を行う。

該当する園児、児童、生徒は申請様式に医師の証明書を添付し、申請。年度末に一括して支払いを行う。





# 町内の課題

# もっとくわしく

## 公共交通

あいあいバスを最深部まで

(上田委員)

**問**

大谷地区の終点は手前の集会所になっている。最深部では、地域活性化を目指す場所がある。あいあいバスを最深部まで通して欲しいと要望があるが検討できないか。

**答**

地域公共交通会議の承認、国土交通省の認可や時刻表の修正、ならびに鉄道利用者にも影響があるため、要望に応えるのは困難である。

和木5丁目の道路標識・表示

(嘉屋委員)

**問**

国道2号線より沖側の道路には道路標識や表示がなく、安全面から問題だ。設置が必要では。

**答**

国道から三井化学正門までの町道は、既に時速30キロの速度規制になっている。栄橋からENEOSまでの町道は、速度規制はないが「スピード落とせ」の安全看板を2箇所設置している。

## 生活・環境

スロープに手すりを

(森脇委員)

**問**

町役場庁舎内の中庭や議会棟入口でのスロープ等で高齢者の転倒で負傷があった。危険な箇所の改修をして欲しいと要望があるが対応は。

**答**

平らな部分と傾斜となる部分の境目に、白いラインテープを張り視認しやすいように対策をとった。更に注意の看板または張り紙等を付近に掲示し、通行者への注意を促している。



危ない段差

## クレジットカードで対応可能

(森脇委員)

**問**

今年度から、固定資産税、軽自動車税、町民税についてQRコードを利用してクレジット決済ができるようになったが、問題点、周知について問う。

**答**

問題点は、地方税共同機構を通じての入金のため、即時に入金確認ができない。また、入金までに時間がかかる。普及には、通知書等にQRコード利用の案内を同封、ホームページ、広報紙、文字放送への掲載によりPRに努める。



QRコード (みほん)

## あいさつ通りのグレーチング

(嘉屋委員)

**問**

雨天時に児童が滑って転倒する心配があるので、滑りにくいグレーチングに変えてもらいたい。

**答**

令和元年までの4年間に約200万円で危険箇所のグレーチングを交換した。今後は歩道の全面改修に併せて実施したい。



町内全域に広がった補助金の利用

## 和木5丁目潮廻し水路の水量

(嘉屋委員)

**問**

秋以降水量が少なく悪臭が漂う。水量を増やし臭いを中和する工事はどうなっているのか。

**答**

今年度予算化し、現在工事を進めている。

## 住宅環境改善支援事業補助金

(灰岡委員)

**問**

令和元年から始まった県の事業だが、補助金を知らない方が多く周知が必要ではないか。開始からの申請と給付件数を伺う。

**答**

実績は、令和元年度36件、2年度24件、3年度19件、4年度220件。広報・周知は町広報紙や町HP、町公式LINEなど様々な手段で行っている。



## 防災対策

- 関ヶ浜分館から瀬田へ抜ける等、避難道を作っ  
て欲しい
- 関ヶ浜川の継続的な浚渫と川底整備を
- 山林の整備計画を
- 関ヶ浜地区に独立した避難所を

## 環境整備

- 関ヶ浜墓地公園と進入道の整備を要望
- 岩国大竹道路の橋梁部分等に防音壁設置  
を要望
- 県道北中山線の拡張工事を早期に実現を
- 関ヶ浜1丁目1番地区の下水問題を早急  
に対策して欲しい
- 関ヶ浜地区の将来の町づくり計画を示し  
て欲しい
- 道路幅員の拡張を

## 生活向上

- 関ヶ浜分館にWIFI 設置を
- 増加する空家対策を求める
- 関ヶ浜分館に自動販売機の設置を
- 鳥獣被害対策をして欲しい
- 町体育館に新しい卓球台の設置を

## 防災対策

- 防災講話を関ヶ浜全体でやって欲  
しい
- 高齢者避難の対策をして欲しい
- 裏山側の修繕・整備をして欲しい
- 川の浚渫と川底整備をして欲しい

## 環境整備

- 関ヶ浜バイパスを通過した車両の国  
道までの経路において大型トラッ  
クの多くが和木町を通過してい  
る。回避できないか
- 県道のがけ崩れがあった場所を拵  
けて欲しい
- 河川の整備や管理をしっかりと  
欲しい
- 関ヶ浜ポンプ場の点検・調整等を  
しっかりと欲しい



## 生活向上

- 養尊寺や農協、コミセン、幼稚園入り口付近等、道  
路標識・表示をはっきりして欲しい
- 和木町の公共工事のことがユーチューブで掲載され  
ているが、削除して欲しい
- 省エネ住宅へのリフォームを支援して欲しい
- 工事前に説明がなかったが、トンネルの振動がひどい
- 役場の職員の愛想がない
- 空家の対策をして欲しい

関ヶ浜地区の皆さま、ご参加いただきありがとうございました。

# 議会町づくり懇談会

～ 地域の課題が浮き彫りに ～

防災対策や下水道問題を中心に幅広い議論

議会町づくり懇談会を7月15日(土)、関ヶ浜地区で開催しました。

主に防災対策、環境整備、生活向上等の様々な要望や意見が出されました。今後、議会は問題を解決できるよう、取り組んで参ります。

なお、次回は9月30日(予備日：10月7日)に瀬田地区で開催予定です。

※議会町づくり懇談会は、議会と住民が共に町づくりについて話し合い、地域の課題や問題点を一緒に考えていく場です。



## 防災対策

- 弥栄ダムの防水管理は
- 河川プールに堆積した砂岩の除去を
- 災害のおそれがある時の高齢者避難の告知の仕方を考えて欲しい
- 関ヶ浜川の浚渫を継続的に
- 山林の整備を

## 環境整備

- せきや商店前の道路から県道への出口が狭くて危ない
- 県道北中山線の拡張工事の予定は
- 県道北中山線の歩道が狭く、見通しが悪い
- 関ヶ浜1丁目1番地区で大雨時にトイレが使えない。下水の早期整備を

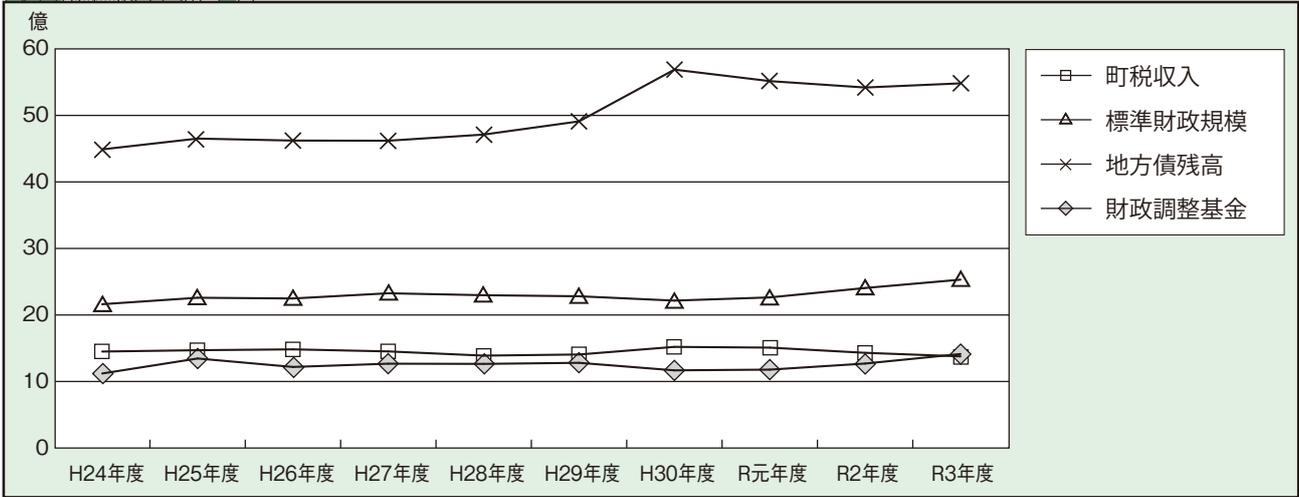
## 生活向上

- 子供のボール遊びができる場所が欲しい
- 買い物弱者の為に移動販売の導入を
- コミセンの洋式トイレを増やして欲しい
- 空家対策が必要では
- 不用品のリサイクル推進を
- 野良猫対策として、地域猫運動に取り組んで欲しい

# 和木町の財政を考える

## 財政とは

福祉サービスや学校教育、防災や道路の整備など、住民の皆さんが住みやすい町にするために、町がお金を集めてくると、集めたお金をどのように使っていくかを地方財政という。地方財政は住民の皆さんの共同の家計簿です。



### <町税収入>

個人や法人の町民税や固定資産税、軽自動車税、たばこ税。

### <標準財政規模>

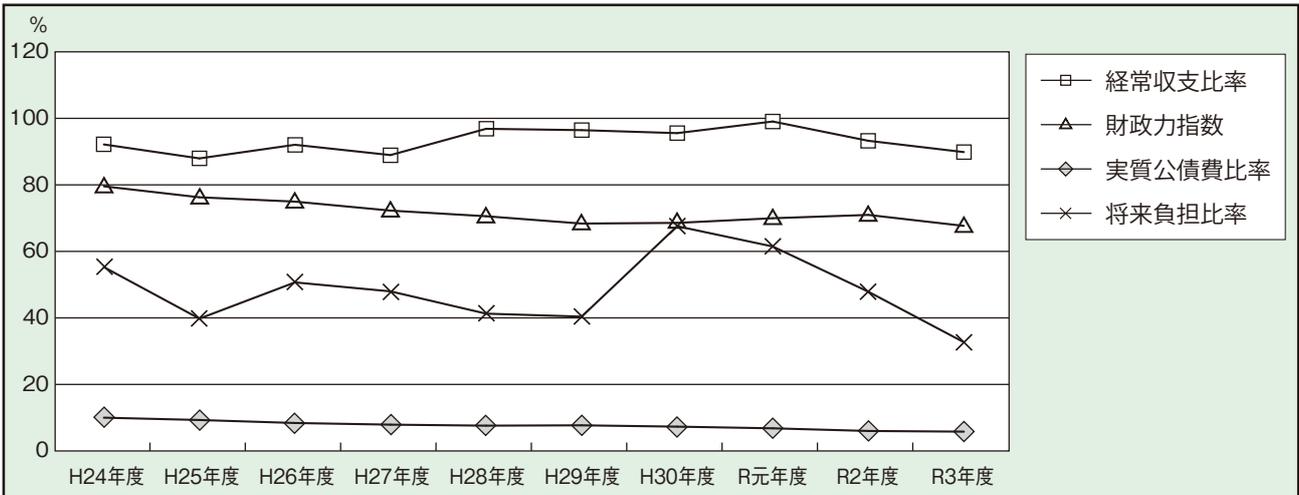
毎年入ってくる、町の裁量で自由に使えるお金で、家庭でいえば毎月の給料のようなもの。ボーナスや小遣いのような臨時的収入とは異なる。

### <地方債残高>

公共施設や道路、水道、下水などの整備に充てた借入金(借金)の残高で、借入後5~30年にわたり返済する。

### <財政調整基金>

年度間の財源の不均衡を調整するための積立金で、大規模災害の発生や大幅な税収減の時に取り崩しを行う。



### <経常収支比率>

町税、地方交付税などの経常的な一般財源が、どの程度経常的な経費に充てられているかを示す指数で、財政構造の弾力性を表す。指数が高いと財政に余裕がなく、理想は70~80%。

### <実質公債費比率>

借入金(借金)の返済額(公債費)の大きさを、町の財政規模に対する割合で表した数字。早期健全化基準は25%以上で、18%以上の場合は、起債(借金をする)に総務省の許可が必要になる。

### <財政力指数>

町の体力を表し、指数が高いほど財政に余裕がある。指数が100%を超えると豊かな団体とされ、地方交付税が交付されない。和木町は平成18・19年度に100%を超えた。

### <将来負担比率>

町の借入金(借金)など現在抱えている負債の大きさが、町の標準的な収入に対してどのくらいかの割合を示し、将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示す数値。350%が早期健全化基準。

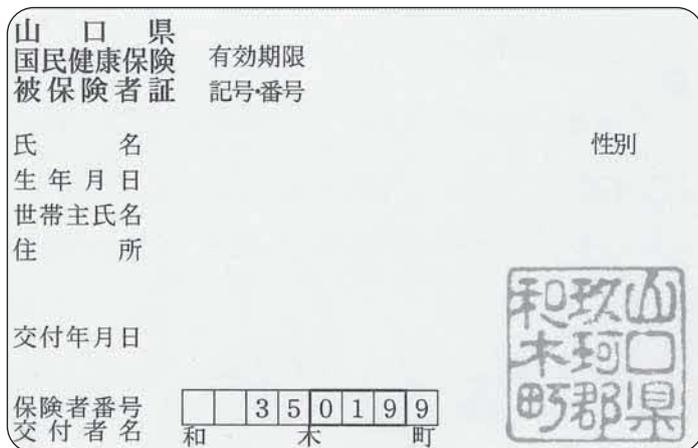
**総評:** 歳入では人口減少や企業動向による町民税の微減が続くが、地方交付税により標準財政規模もほぼ横ばいで推移し、財政に緊迫感を与えていない。経常収支比率も90%前後で推移し、ある程度の弾力性は確保している。近年のこども園等の大型事業で借金残高も増えたが、返済ピークは越えて、将来負担比率も下降気味でやや安心感が出た。本町の財政状況は概ね健全な状態だが、今後は老朽化による公共施設の整備や税収の落ち込み、社会保障関連の経費の増加など財政のきびしさが予想され、引き続き持続可能な行財政基盤の確立が求められる(兼本)。

# 国民保険料の賦課料率の軽減を

あけもとみつひろ  
明本 光弘 議員



保健福祉課長 **これまでと同様に算定する**



国民健康保険被保険者証 (みほん)

**質問**

一世帯当たりの国民健康保険料の賦課額、いわゆる納付額は、被保険者の納付額についてある程度の収納率の減を見込み、その分をプラスして計算していると聞いている。各年度によって、賦課時の収納率に違いがあると思うが、これは年度によって収納率の違いがあるからか。

**課長**

国民健康保険料は、国保の歳出から歳入を差し引いた額が保険料賦課総額となり、予定納付率に基づく賦課総額から国保加入者一人あたりにかかる保険料を算出し、その保険料をもとに保険料率等を算定していくこととなる。令和5年度の予定納付率については、直近の収納率98%で算定する。

**質問**

年度によっては数パーセントの差があると思うが、収納方法の違いや、年度によっての滞納処分の方法等随分違いがあるのか。

**課長**

は、善良な納税者に負担をかけていると感じるがいかか。

**保健福祉課長**

平成30年度から令和4年度までの各年度の国保料の収納率を教えてください。

**課長**

平成30年度96・21%、令和元年度96・96・78%、令和2年度97・46%、令和3年度97・46%、令和4年度98・18%である。

**質問**

年度によっては数パーセントの収納率の差があり、これらが国保料の賦課総額に大きく影響をしていると感じるが、令和5年度は収納率をいくらかと見込んで賦課する予定か。

このように毎年数パーセント程度の滞納者の納付漏れ額を見込んで、善良な納税者の賦課額にプラスして賦課額を再計算という方法

収納率が1%下がると令和5年度で言うところの賦課総額が約60万円程度高くなるが、国保会計の安定的な運営を図るためにも、収納実績に基づき算定するので、100%で算定ということとは考えていない。また、足りない部分がある場合は基金を取り崩すことになるが、基金を取り崩した場合には、国保加入者の負担等によりその不足分を補うことになる。基金は突発的な医療費の増加時に備えたものなので、恒常的に基金を取り崩していくことは考えていない。国保会計の安定的な運営を図るため、これまでと同様に収納実績に基づき算定していくこととする。

# 図書館の本はどのような手順で廃棄されているのか

なかむら みつこ  
中村 充子 議員



教育委員会事務局長 「和木町立図書館資料除籍要領」に従い除籍している

## \*図書館について

**質問** 図書館の職員は書庫が狭いので新刊を買うつと入れるところもなく、職員で相談して古い順、貸出し履歴のないものから廃棄をしているとのこと。どのような手順で廃棄されているのか。

### 教育委員会事務局長

本町図書館に所蔵されている書籍の廃棄までの手順は、コミュニティセンター所長と複数の図書館職員が、「和木町立図書館資料除籍要領」に従い、まずは、「亡失」、「汚損、棄損」、「不要」この3点の基準に基づき除籍となる書籍の選定を行っている。

### 質問

図書館を訪れたが、借りた本や専門書が一冊もないがなぜか。リクエストカードに記入しても買ってもらえるかどうかかわらないと言われた。理由は。

### 町長

図書館を利用される方も人それぞれで



高齢者の利用を期待する和木町図書館

あり、必要とする専門書は多種多様でどこまでの本を購入すればよいのか判断できない。全ての本を揃える事はその量も膨大となる。司書も、その時のトレンドを勘案しつつ、なるべく多くの方が望まれる本を購入していると考えている。希望どおりに全ての専門書を購入していたのはきりが少ない。小さな町の公共図書館としては希望の全ての図書を購入することは難しい。

## \*学校の安全について

**質問** 窓からの転落事故が繰り返し起きています。窓からの転落事故は設計段階から転落事故に取り組み自治体もあった。こども園、小学校、中学校全て新しい校舎だが、転落防止については考えて設計されているのか。

### 教育長

本町の学校や園については、設計に着手する以前の基本構想や基本計画などの企画の段階から、安全面についても関係者の意見等を聞いて検討し、その後設計へと進めた。県への「確認申請」や完成



安全に設計された和木中学校

後の「完了検査」においても不備もなく、これらの過程を得て校舎や園舎が落成をしている。

### 質問

クラブ活動中に熱中症になり障害を負った事故があった。和木中学校は、クラブ活動の時、顧問はおられるのか、生徒だけでやらせることはあるのか。熱中症対策はどうなっているのか。

### 教育長

1日の活動時間は、長くとも平日では2時間程度、学校の休業日は3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的かつ効率的・効果的な活動を行うこととしており、熱中症予防を含めた体調管理など生徒が十分な休養を取ることができるようになっている。各部に2人の担当者を配置しており、活動を指導したり、見守ったりする教職員が出張などで不在の時は、その部の活動を中止することになっている。

# 蜂ヶ峯総合公園にドッグランを

もりわき あけみ  
森脇 明美 議員



都市建設課長 管理面・収益性で慎重に検討する

**質問** 蜂ヶ峯総合公園にドッグランを建設できなにかとの要望がある。設置する考えはないか。

**課長** 都市公園内にドッグランの設置は可能である。しかし、トラブルも多く発生しており、ペット同士の接触による怪我等の問題や管理面、収益性等もあるので慎重に検討したい。



要望の多いドッグラン

**\*町制50周年の記念イベントで盛りだくさんの企画**

**質問** 蜂ヶ峯総合公園で5月28日に行われた50周年イベントの成果と次回予定されているイベントについて問う。

**課長** Bee+エリアでは、気球搭乗体験や出店したマルシェ、夜のバルーンランタンまで大いに盛り上がり、誕生以来最高の集客数を記録した。

11月に、蜂ヶ峯IKUUSA Festivalとして、スポンジ製の刀を使い、チャンバラ合戦を計画し、またアーバンスポーツイベントとしてスケートボードやランバイクの体験教室を開催する予定。

**\*マイナンバーカードをめぐるトラブルは**

**質問** マイナンバーカード所持者がナンバーと公金受取口座を紐付ける際に誤って他人名義の口座が登録された事例はあるか。

また、本町のマイナンバーカードの普及率を問う。

**企画総務課長** 本町での事例はない。また、交付率は83・2%である。

**\*災害時の安全対策は**

**質問** 線状降水帯の発生情報を町民にどう伝えるのか。

**課長** 線状降水帯の発生が確認され、最大30分前に大雨が予想された場合に発表されることになった。

「避難指示」を防災行政無線、同アプリ、防災メール、緊急メール、アラート、自治会長への連絡、広報車による広報等の手段で周知、伝達を行う。

**\*園児の安全対策は**

**質問** こども園の送迎バスの安全装置の設置状況は。

**教育委員会事務局長** 現在、2台のバスを使用しており、5月22日、5月30日にそれぞれ設置が完了している。

**質問** 安全装置はどのような仕組みなのか。

**事務局長** 降車時確認式のもので、バスのエンジン停止後5分以内に車内を確認して下車確認ボタンを押すだけのシンプルなもの。

確認ボタンの位置は、バスの最後尾の園児の手の届かない位置に設置してある。5分以内に下車確認ボタンを押さなかった場合、バスの周辺に大音量のアラームで警告音を発するシステムとなっている。

車内の安全確認をする運転手



バス安全装置

## 議員の公約

### わたしたちは 実現に向けて がんばります。



嘉屋 富公

- 空家、空地対策を見直す
- 通勤圏 1 時間を考えて住民増に働きかける



灰岡 裕美

町民の皆さんが住みたい町、住みやすい町にするために、皆さんの声を町に届けます。



兼本 信昌

- 「誰ひとり取り残さない」を目標に、障害児・障害者支援に取り組む
- 人口減少問題と空き家対策に取り組む



津島 宏保

時代の変化に伴った行政サービスを模索し提言していく。



中村 充子

- 安心安全な町 防災、減災に向けた取り組み
- 教育の町 学校図書館と和木町図書館の充実
- 健康の町 病気を未然に防ぐ体づくり



森脇 明美

- 人口増加対策・子育て教育支援の推進
- 暮らしの安心・安全、防災対策の推進
- 健康と体力づくりの推進



三分一 淳

- 行政システムの改革
- 財政健全化  
(利用可能財源の増大)



明本 光弘

- あ 明るいまち
- け 健康なまち
- も 盛り上がるまち
- と ともに作りましょう



上田 丈二

- 子育て支援の充実
- シニア世代に安心を
- 若者に希望を



小林 秀嘉

- バスで買い物や病院にいけるようにしよう。
- パソコンやスマホがお年寄りにわかりやすくしよう。
- 子どもの思いから、校区の撤廃を。自由に選べるようにしよう。

## 編集後記

コロナ感染症に対する位置づけも5類に変わり、国内の活動が大きく活発化し始めました。私もこのたび議員になり、多くの議会・議員活動を始め、数か月がたちました。その内容は臨時・定例議会の他、複数の委員会・協議会・理事会、それに伴う情報収集と書類作成です。議員には想像していた以上にこなさなければならぬ仕事幅が幅広くあり、驚愕しています。また同時に、基本として知っておくべき情報も多くあり、その必要性を実感しながら、日々邁進しております。

なお、この「議会だより」には、主に和木町をより良くするため、議会と行政が一緒になって、試行錯誤をしている経緯を掲載しています。是非、今後もご注目いただければ幸いです。

そして意見等があれば、ご連絡ください。しっかり検討したいと思えます。一緒に、『より良き未来の和木町』を考えましょう。

(三分一 淳)

### 発行責任者

議長 兼本 信昌

### 広報広聴委員長

森脇 明美

### 広報部

上田 丈二 中村 充子  
明本 光弘 三分一 淳

